

今日の説教のポイント<エフェソの信徒への手紙1章8~14節>

ここを読んで思われることは、パウロが、「神様は、私たちの救いをイエス・キリストによってなされた。そのイエス・キリストによる救いの特殊性をどんなに考えても考え過ぎということはない」、っそう思っていることです。それが次のようなことから読み取れます。

①「キリストにおいて」 この妙な造語に注目！

先週も触れましたが、1~14節には、「キリストにおいて」という表現が11回も出てきます。「において」というのは、英語でいう「in (元のギリシア語もほぼ同じεν)」で、「~の中に」という場所・空間の用語です。

「キリストによって(救われた)」とさえいいものを、わざわざこのように表している意味を考えなければなりません。コロサイの信徒への手紙1章13節で、パウロは次のように語っています、「御父は、私たちが闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下(バシレイア)に移して下さいました」。私たちはイエス様が支配しておられる領域内に移されたのだ、まさに場所・空間的ですね。この「支配下に」と訳されているギリシア語「バシレイア」こそ、日本語で「神の国」と訳されている「国」の元の語なのです。ですから、神の国といっても、死んだ後の天国だけ考えるのではなく、今、もう私たちが入れられ始めているキリストの支配領域を考えることが大事なのです。ヨハネ16:33の主の言葉に注目！

②「前もって」 もう一つ繰り返し出て来るこの表現に注目！

この「キリストにおいて」に伴ってこの個所で何度も出て来るもう一つの表現が「前もって」です(5、9、11)。神様によって、他の人より先に、このキリストの特別な救いを信ずるよう導かれた自分たちのことを表現する所で用いられています。しかし、この救いを信じる信仰には、異邦人も加えられることも語られています(11-12節：私たち・ユダヤ人、13節：あなたがたもまた・異邦人)。そしてついには、「キリストのもとにあらゆるものが一つにまとめられる」(10)、とされています。ですから、こちらの方は、空間的に対して時間的、と言えるでしょう。

③イエス・キリストによる神様の救い！ 驚くべき救い！

イエスキリストによって、私たちに空間的にも時間的にも解放と希望をもたらしてくれる特別な救い。この救いに、パウロもそれ以後の信仰者も皆感動しているのです。「キリストにおいて」の不思議です！